

校長研修だより40

中学入試当日保護者対象講話

2022・1・8 重枝 一郎

当日は、約70名の保護者の方に話を聞いていただいた。山田け先生の司会、内野先生のお膳立て、そして私と川島先生で本校について語った。

私は、ひとくくりにはなってしまうが、まずは本校の先生方のすばらしさを話した。そして、自分のこと、本校に来て実感したこと、本校のこれからなどを話した。

川島先生は、社会的な動向や教育改革に関連付けながら、本校の卒業生を例にあげ、これからの生徒たちにつけたい力についてプレゼンした。

それぞれ話した後には大きな拍手をいただいた。以下、話の内容をざっくり紹介する。

なんと二人で2時間近く話してしまった(笑) すみません。

重枝自身がこの学院にきて実感したこと

- 1 文理芸融合のグローバル総合学園であること（感性を伸ばすと知性も伸びる）
多様性がある（高大連携）→私が本校選んだ理由にもなる
- 2 穏やかで、あたたかい学びの環境がある（教師、生徒共に）
→私もほんとうに来てよかったな

これからの女学院

- 1 これまでもそうであったように、毎朝の礼拝を中心として、説教（メッセージ）や賛美と照らし合わせながら、自分の考え方の基準をつくらせていく（マインドセット）。
- 2 「守られている間に守る力を」そのために、授業、部活、はないち・・・（プチ挫折が重要）。
- 3 教育界は平成を昭和でごまかしてきた。本校は、過去をリスペクトし、未来に責任をもつ。
- 4 卒業生の仕事を見ても、9割以上がMac, iPad を使って仕事をしている。だから本校は、来年度から全員にiPad をもたせる。（ICT 活用教育の推進）

保護者が考えていること！！

「かわいいわが子が、これまでにない予測不能な厳しそうな時代を生き抜いていくことになる。だからそういう時代を生き抜いていくための何らかの武器を与えたい。」

だから本校は！！

- 1 「文理芸融合の多様なカリキュラム」と「ミッションAL」
もし準備期間が足りないとしても、系列大学まで視野に入れて学べばいい。
- 2 「少し年上のカテゴリーとの関係は、この成長を促す大きな支援になる
青春の悩み、それは勉強や人間関係などさまざまである。中高一貫であること、高大連携があることが大きなメリットとなる

女子校の良さは、男女や上下関係に忖度することなく、一人の人として相手を見る。